

あなたと
議会を
つなぐ情報誌

大 網 白 里 議 会 だ よ り

第173号

発 行 大 網 白 里 市 議 会
〒299-3292
大網白里市大網115番地2
電 話 0475 (70) 0390
発 行 人 大 網 白 里 市 議 会 議 長
田 辺 正 弘



子育て交流センターは、児童館や、子育て支援センター、学童保育室などが入った複合施設として、本市みどりが丘に建設されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた4月1日の施設利用開始は延期となりましたが、今後、子どもたちの健やかな成長をたすけ、子育て世代を応援する場として、市民の皆さんに愛される施設となることが期待されます。

観光地魅力アップへ！トイレ改修



夏になると、多くの海水浴客で賑わう白里海岸と、小さなお子様連れの方にも人気で、春先には見事な桜が咲き誇る小中池公園について、観光地としてのさらなる魅力アップを図るため、トイレ改修工事が行われることとなりました。

この事業は、千葉県からの補助金を使って行われます。

■事業費（予算額）	
▶白里海岸分	6,997千円
▶小中池公園分	10,824千円
■財源	
▶県補助金	10,992千円
▶一般財源	6,829千円

市議会HPのご案内

本市議会では、開かれた議会の取り組みとして、会議録、行政視察報告書、政務活動費の報告などをHPにて公開しております。

大網白里市HP内の市議会HPをご覧ください。また、QRコードからもアクセスできます。



主 な 内 容

- 新年度当初予算（案）を可決……1・2
- 農業支援制度の維持・
拡充を求める意見……2
- 介護保険料、負担軽減へ条例可決……3
- 市政に問う！ 15議員が登壇……3～8
- 採決結果一覧など……8

令和2年第1回定例会は、令和2年2月21日から3月19日までの28日間開催されました。今定例会では、市長から令和2年度当初予算案を含む議案29件と、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問1件が提出されました。慎重審議の結果、いずれも原案可決、同意となり、人権擁護委員候補者については、適任と認めました。

市政に対する一般質問は、会派代表質問が2会派4人と、個人質問が11人登壇し、市政のあり方などについて質問、提言しました。

令和2年第1回定例会が開催されました

議案29件を可決・同意！

予算特別委員会 審査レポート

用語解説

予算特別委員会とは、市の予算が、市民の皆さんのよりよい生活のためにどのように使われるのか等を詳しく審査するために特別に設置される委員会です。

新年度予算案可決

第1回定例会において市長から提出された令和2年度当初予算については、8人の委員で構成される予算特別委員会が設置され、3月10日から12日までの3日間の集中審議により、執行部からの説明聴取や、検討改善事項の取りまとめを行いました。

その結果、新年度の一般会計及び特別会計予算については、いずれも原案のとおり可決となりました。

令和2年度当初予算は、厳しい財政状況であることに鑑み、新規事業の抑制や既存事業の休廃止、縮小などが行われ、一般会計予算は、前年度と比べて、1.6%、2億4,200万円減の、146億300万円となりました。

市の財政状況は、今後も一段と厳しくなることが予想されるため、市議会としても、市に対して、財政健全化に向けた取組について強く求めていくこととなります。

農業支援制度の維持拡充へ意見

厳しい財政状況の折、各課等の予算(案)が削減される中、予算特別委員会では、市の基幹産業である農業に係る予算について、支援制度の維持・拡充に関する意見が挙がりました。

主な質疑を要約すると、次のとおりです。

【問】 水稻共同防除事業の予算について、前年度と比較してどうか。

【答】 令和2年度は、10a当たり300円とした。平成30年度までは200円で、令和元年度は、400円としていた。

【意見】 水稻共同防除事業など必要不可欠な事業については、維持・拡充されたい。



令和2年度一般会計歳入歳出予算の概要

※四捨五入の関係で実際の額とは一致しません。

歳 入

() 内は前年度比

■市 税	49億8,182万円 (+2,581万円) …個人市民税、固定資産税など
■地方譲与税	1億9,290万円 (+1,700万円)
■地方交付税	31億円 (+1億円)
■使用料及び手数料	2億2,235万円 (△3,608万円)
■市 債	7億4,490万円 (△2億7,560万円)
■その他	53億6,103万円

歳入合計 146億300万円
(△2億4,200万円)

歳 出

() 内は前年度比

■民生費	59億973万円 (△2億2,964万円)
■衛生費	16億3,118万円 (△5,825万円)
■農林水産費	4億8,210万円 (+1,352万円)
■土木費	10億6,933万円 (△1億968万円)
■教育費	14億4,986万円 (+2,800万円)
■公債費	13億6,113万円 (+5,841万円)
■その他	26億9,967万円

歳出合計 146億300万円
(△2億4,200万円)

財政健全化に向けた緊急的な取り組みを踏まえた審査

令和2年度も、市の財政状況は依然として厳しい状況にあります。

市執行部からは、「財政健全化に向けた緊急的な取り組み(案)」が示されました。予算特別委員会では、この取り組みを踏まえて、各課等の予算を審査しました。

主なポイントは次のとおりです。

～歳入(市の収入)面での取組～

- ▶ 市税の徴収強化
- ▶ 基金の整理・統合
- ▶ 市有財産の売却
- ▶ 企業誘致の推進
- ▶ 受益者負担の適正化(使用料・手数料などの見直し)

～歳出(市の支出)面での取組～

- ▶ 人件費の抑制
- ▶ 補助金等の見直し
- ▶ 新規事業の抑制
- ▶ 一般会計からの繰出金の抑制

検討改善事項

市の予算(お金)が、市民の皆さんにとってよりよい使い方となるように、予算特別委員会で取りまとめた各課等の予算に関して、検討、改善を求めた事項のうち、主なものをお知らせします。

◆財政課について

財政健全化に向けて、実行性のある緊急的な取組を。

◆秘書広報課について

秘書事務費について、必要性、緊急性の観点から見直しを。

◆総務課について

会計年度任用職員について、適切かつ効果的な運用を。

◆企画政策課について

◆市民課について

国民健康保険事業の安定運営を。

◆社会福祉課について

障がい者、生活保護受給者を含めた生活困窮者の自立支援を。

旧庄ぜん及び隣接市有地について、市が主体となつて積極的な利活用を。

◆子育て支援課について

子育て世代の多様なニーズに応えるために、子育て交流センター、子育て支援館の有効活用を。

◆高齢者支援課について

◆農業振興課について

本市の基幹産業は、農業であるから、水稻共同防除事業など必要不可欠な事業については、維持拡充を。

イノシシ対策については、被害が出ないように早急に強化を。

◆地域づくり課について

リサイクルの促進により、資源の大切さを啓発するとともに財源の確保を。

◆商工観光課について

海水浴場の監視業務や駐車場料金の管理業務については、事業内容の精査を。

◆建設課について

浸水対策の要となる金谷川河川改修工事の推進を。

◆都市整備課について

小中池公園について、本市の観光拠点となるよう整備の検討を。

委員長	北 田 宏 彦
副委員長	秋 葉 好 美
委員	土 屋 利 昭
委員	小 倉 公 二
委員	蛭 田 俊 隆
委員	黒 須 田 隆
委員	岡 田 憲 二
委員	石 渡 登 志 男

◆下水道課について

接続率の向上と経営健全化を。汚泥処理は、リサイクルも含めて経費の縮減について研究を。

◆農業委員会について

引き続き農業委員、農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の解消に努め、農地利用の適正化に向けた取組を。

◆健康増進課について

検診などについて、国の動向に沿った事業展開を。

◆国保大病院について

新体制のもと、病院機能の強化と早期の経営健全化を。

◆教育委員会生涯学習課について

引き続き学習環境の改善を。図書室について、限られた予算の中で創意工夫して住民のニーズに対応を。

介護保険料の低所得者向け負担軽減に向けた条例改正案などが審査されました！

～ 常任委員会
審査レポート ～

議案や陳情を詳しく審査するため、3つの常任委員会で審査が行われました。
(※紙面の都合上、主な質疑、意見のみを掲載します。また、正式な議案名は8ページでご確認ください。)

総務常任委員会

3月5日に議案2件と陳情1件の審査を行いました。議案2件は、いずれも原案可決。陳情1件は、不採択となりました。

こんな意見がありました

●陳情第1号 経費を節約するために、入札監視の内容を、既存の監査委員の監査基準に追加してもらうための陳情
【賛成意見】
・前回、入札監視委員会設置に関する陳情に対して、既存の監査委員を活用した方がいとの反対意見があり、今回はそれを採用してはどうかとの陳情から賛成したい。
【反対意見】
・来年度からの下水道事業の公営企業会計への移行などに伴う事務量増加とい

文教福祉常任委員会

3月8日に議案5件と陳情1件の審査を行いました。議案5件は、いずれも原案可決。陳情1件は、不採択となりました。

Q&A こんな質疑がありました

●議案第24号 大網白里市介護保険条例の一部改正
問 市民にとってメリットがあるのか。
答 低所得者層の負担軽減に関する内容であり、住民にとって良いことだと考えている。
●陳情第2号 小、中、高かけがえない111人の命を守りたい自殺対策に関する陳情
【反対意見】
教育委員会においても見守り体制の強化等を行っており対応できている。美術の時間は情操教育にはいいが、児童心理学について、陳情者の実績がわからず、実際に取り入れるとなると疑問な点があり、いかなるものかと思う。

こんな意見がありました

●陳情第2号 小、中、高かけがえない111人の命を守りたい自殺対策に関する陳情

産業建設常任委員会

3月9日に議案1件の審査を行い、原案のとおり可決しました。



委員長 北田 宏彦
副委員長 秋葉 好美
委員 土屋 忠和
委員 小倉 利昭
委員 蛭田 公二
委員 黒須 俊隆

委員長 岡田 憲二
副委員長 中野 修
委員 引間 真理子
委員 森 建二
委員 堀本 孝雄
委員 宮間 文夫

委員長 石渡 登志男
副委員長 上代 和利
委員 林 正清子
委員 山下 豊昭
委員 小金井 勉

「台風15号、19号、大雨による被害 対応と防災対策の見直し」について



森 建二 議員

会派代表質問
創 政

○台風被害の検証について
問 昨秋の台風被害は多くの爪痕を残しました。でも同時に私達は「経験」を得る事も出来たと考えます。市では現在、検証作業を進めていると聞きます。この大変だった経験を今後に生かす事を目的に、どの様に検証を進め、実を結ばせるのか伺います。

答 昨年の一連の災害対応における検証作業は、災害対策庁内検討会議に、情報の収集伝達、避難体制・避難場所運営、停電対策、断水・ごみ処理対策の4つの部会を設置し、検証を進めております。検証に当たっては、市民の皆様や職員より寄せられた意見等を基に、各部会において市として対処すべき課題を抽出し、原因の追究、課題に対する対策・対応を、ハード・ソフト面、短期的・中長期的な観点、市民・地域・市役所などの担い手の役割といった観点から整理し、検討を行っているところです。今後、3月までに、中間の取りまとめを行い、6月頃までには最終的に取りまとめ、今後の災害対応に生かして参りたいと考えます。

ぜび実りある物として下さい。また、市民への災害対策の啓発、井戸などの情報の共有、自主防災組織との情報連携もお願い致します。
○新型コロナウイルス感染症対策について
問 このところ、ニュースで見ない日は無く、危機感を感じます。残念ながら既に国内感染期に入ったと考えられます。どこで罹患者が出てもおかしくない。大変な状況です。PCR検査を行える環境も十分に整っていない。政府はようやく一昨日・25日に今件に係る「基本方針」を発

表しました。伝染病等については国が旗を振る話です。市としての難しい立場も理解します。がしかし、私のところにも市民から多くのご相談を頂きます。もっとも、大網白里市は1月末からホームページ上で注意喚起を促したり、市のキャラクターの「マリン」を通じてツイッターで情報発信をしていますので、比較的早くから対策を講じていると思います。まだ不確定な部分があるうかとは思いますが、改めて市長に伺います。ここまでの市としての動き、そして今後について、この新型コロナウイルス感染症に対する心構え、現在の動き、今後の考えを聞かせて下さい。

答 新型コロナウイルスへの対応につきましましては、世界的規模で感染の拡大が続く中で、現段階で国外で約8万人、国内でも150名を超える感染者数が確認されており、今なおその数は増加を続けております。また、県内における感染者は、これまで中国からのバスツアー関係者及び帰国者に限定をされておりましたが、去る2月22日には、隣接の千葉市で中学校の教員の感染が確認されるなど、先週末から今週にかけて、国内における感染が拡大してきており、非常に憂慮される状態となっております。現在の処、本市内における感染事例は確認されておりませんが、状況を受け、本市においても市民への感染防止を最優先課題として、去る2月25日、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、各部署間で情報共有や今後の対策について協議をしたところです。市民の皆様には、これまでも市HPを通じて、手洗いや咳エチケット等と呼ばびかけて参り

ましたが、この対策本部での協議を踏まえ、今後はより多くの方々にこうした対応に努めて頂く様、区長回覧やSNSなども活用しながら、人混みを避け、不要不急の外出を控えるといった予防措置や、発熱や咳が続いた際の対応、相談・問合せ先などの情報と併せ、随時必要な情報を提供して参りたいと思います。
また、市や関係団体が主催するイベント等について、不特定多数の方の参加が見込まれる様なケースにつきましては、当面、市民の皆様の健康を最優先に、開催を中止、又は延期する等の措置を講ずる事と致しました。更に、大網病院においても、院内での感染防止措置の徹底を図って参ります。

新型コロナウイルスについては、未だ収束に向けた先行きが見通せない状況が続いておりますが、こうした取組と併せ、引き続き県等の関係機関と連携しながら、全力を挙げて感染防止対策に取り組んで参ります。※その他、○行政事務の業務効率化(RPA他)、○次期総合計画策定について、○第2期子ども子育て支援事業計画について、問い質しました。

関連質問

北田 宏彦 議員



新ごみ処理施設整備計画について
問 稼働中の環境クリーンセンターと地元区の経緯について伺いたい。
答 地元区との稼働延長協議の結果、再延長は行わない事を条件に、令和9年度末までの稼働延長協定が結ばれた。新クリーンセンター予定地の選定は、土地利用条件、市民理解度や経済性を考慮した最終評価を経て、東金市上武射田区に決定した。
問 新ごみ処理施設整備基本計画は、設計・建設費154億4千万円ほか地元対策費・用地買収費20億円、そのほか非常用電源、新しい洪水・浸

水対策、地盤沈下対策、現施設の解体費用、資材・労務費の上昇など総事業費200億円とも言われている。本市の新ごみ処理施設に係る負担金額はいくらか伺いたい。

答 本市の負担額は、総事業費約166億円から国の交付金約44億円を除く負担額に、令和2年度の本市負担割合37.44%で算出すると、約46億円になる。総事業費には進入路整備に関わる用地測量、用地費は含まれず、洪水・浸水対策、地盤沈下対策などの費用も見込んでいないため、仮に総事業費を200億円とした場合の本市負担額は約55億円となる。

問 財政状況が厳しい中、過大な負担を背負うことを懸念する。総合的に勘案して、見直す必要性はないか。
答 具体的な対策について検討することとしており、現在の候補地においても対応は可能である。

問 再度、借地契約の延長、あるいは土地の買取りを協議してはどうか。
答 改めて地権者及び地元の皆様と稼働期間の延長に関する借地契約の延長、あるいは土地の買収といった協議をすることは、大変厳しい。

総事業費の圧縮に向けて努力していく必要があるのではないか。
我孫子市の新クリーンセンター整備計画は、建設に係る概算工事業費を約130億円と見込み。入札予定価格は、20年間の運営費込みで245億7千万円、総合評価方式を採用し、日立造船グループが施設整備費106億円、別途運営費72億円で落札している。落札率72.45%で、予定価格より67億7千万円削減できている。

計画の見直し、建設費・経費の削減に向け、リーダーシップを発揮し、財政負担の軽減を図って頂きたい。

この外「市街地調整区域の地区計画運用基準の改正について」「大網駅南地区まちづくりについて」「子ども貧困対策について」「第2期子ども子育て支援事業計画について」

会派代表質問

市民あつての市政ではないのか！
私たちはそれを忘れてはならない。

新政ネット

石渡 登志男 議員



問 昨年の台風では、市民の方々は断水と停電に困った。特に足腰がご不自由な高齢者は、市が飲料水を提供できる状態でもその場に行けない。災害時、給水車とどうなるのかわからない。そこで災害弱者の方に対して各区や自治会において、最低限の飲料水や食料の備蓄があればかなり違ってくるはずだ。現実的な対応が大事なのだ。市から積極的に伝えしていくべきではないのか。

答 ご指摘の区・自治会や自主防災組織などの地域における備蓄につきましては、昨年の一連の災害における状況を考慮しますと、重要な課題ですので、今後様々な機会を捉えて啓発を行い推進してまいります。

問 東日本大震災や熊本地震では、深刻なる性被害が発生している。この問題は自治体がいかに対応すべきだ。熊本地震では、女性の性被害は10件に上っている。避難所生活ではこういったリスクも発生する。市民の安全・安心な避難所生活のために事前に考えていただきたい。

答 避難所生活の性被害は、東日本大震災や熊本地震の避難所生活において報告されています。その予防策として、警察による夜間巡回のほか、照明の確保や配慮が重要であると考えます。市では、避難所における要配慮者や女性特有のニーズなどの把握に努め、性犯罪を含めた犯罪の防止のための対策について、他の自治体の事例などを参考に検討してまいります。

問 次は、みずほ台のドラッグストアー近くにある危険な交差点についての質問である。みずほ台住民のたくさんの方から相談を受け、私は担当課と話し合いを行った。そこで

市から警察署のほうへ話をしていたが、消えかかっていた横断歩道のラインが実行された。市の対応は非常に早く素晴らしい。でもこれだけでは事故は防げない。あの交差点での人身事故数は一体どれくらいいるのか。

答 令和元年までの過去3年間の交通事故件数ですが、東金警察署に確認したところ、人身事故は8件発生しているとのことでした。

問 私もあの交差点、何か危険だと思っている。やっぱり考えなくてはならない。市と私の話し合い時に現在の信号機から歩車分離型のような信号機に変更するかを地元住民と市は協議していきたくて示してきた。その進捗状況はどうなったのか。

答 昨年4月に、東金警察署及び道路管理者と合同で安全対策の点検を行いました。当該交差点は横断歩道や信号機など既に対策済みであり、事故原因の多くは、車両の運転者の過失によるものであるとのことでした。しかしながら、当該交差点については交通量も多く、事故も発生していることから、一つの案として、地域の意見を聴いたうえで、右折矢印や歩車分離式などの信号機の機能変更による対策が考えられるとのことでした。その後、本件について東金警察署に相談したところ、信号機の機能変更にはいくつかの種類があり、メ

リットやデメリットもあるとの事ですので、今後これらの課題を整理しながら、地元の意見を伺った上で、東金警察署に対して、適切な対応の要望を行ってまいります。

何か改善していかなければならない問題だ。地域住民の意見をしっかりとお聴きし、警察のほうとも相談

して、よい解決方法をお願いしたい。問 市民を対象とした講座、いわゆる教室だが、市民から相談があった。市は昨年24回開催を22回に変更してきた。そのため中央公民館での教室などは昨年8月は教室開催がなかった。4月以降も同様に22回開催なのか。

答 昨年度まで各教室月2回、年24回開催してきましたが、令和2年度におきましても、今年度同様に年22回の開催を予定しています。

市は講師料をけちったということだ。講師料がかからない同好会は今まで通りで認めてきた。受講生は年間を通じて行いたいという気持ちがあり、講師の先生方も年24回で計画を立てていたが、困った状況になったようだ。問答無用で一方的にぶつた切るのはなく、何か解決案があるはずだ。財政難が理由ならば、事前にご理解いただくよう市の努力と誠実さがあってもよいではないか。

答 昨年度も物事を行っていかないと、市政は市民からやがてそっぽを向かれてしまうぞ！市民あつての市政ではないのか。十分ご検討をお願いしたい。

関連質問

堀本孝雄 議員



問 昨年度の本市夏期観光の入り込み状況はどうか。

答 平成29年度が約9万4千人、平成30年度が約9万5千人、本年度は約7万人でした。

千葉県では毎年入り込み客数のトップを占める勝浦市では、まず安全、安心を最優先して入り込み客数の増加を図っているようですが、本市においても、お客様に安心して来て頂けるようなおもてなしの心を持った接客を海の家出店者ならびに関係者に心掛けて頂けるような指導をして客数の増加を図ってみたい。

問 白里海岸の波乗り道路下のアンダーパスの進捗状況はどうか。

答 開口部対策が必要なアンダーパスが11か所あり、そのうち6か所については陸開（りっこう）を、その他5か所については囲み堤防を整備する計画であります。それらは、電源施設を含めて来年度末までに完了するという事です。市でも千葉県と十分連携しながら一日も早く完成するよう要望してまいります。

問 津波避難計画にある残り2か所の避難施設はどうなっているのか。

答 津波避難計画に係る予算計上は現下の厳しい財政状況では見送らざるを得ない。津波避難施設に限らず各種計画に位置づけられた事業であつても経常収支比率が改善するまでは原則抑制することとした。

問 経常収支比率（千葉県下で大網白里市が一番悪い）が、どの程度になれば、事業の進捗が図られるか。

答 平成30年度決算では、98.7パーセントとなっているが、95パーセントを超えると国や県から引き下げるための努力をするよう求められるので95パーセント以下まで引き下げる努力が必要と思われる。よって財政的な改善が見られるまで事業の抑制を図っていく必要があります。

問 未利用市有地についても積極的な活用が必要であると思う。そこで現在売却あるいは貸付けられる可能な土地の簿価はどのくらいあるか。

答 市の所有している土地で利用目的の決定していない売却や貸付けが可能な土地は普通財産として管理しており、この普通財産の中で売却や貸付けが可能と思われる土地は、みどりや丘市有地など約4万5千平方メートル、これらの土地の資産台帳上の価格は5億3千4百万円であり

ます。積極的な売却も含めてさらに推し進めていただきたい。他に大網病院についても質問しました。

個人質問

市の財政について

岡田 憲二 議員



問 市長が今議会冒頭に発言した「市長事務方針」から抜粋して質問する。「国が定める財政健全化判断比率において本市はいずれも早期健全化基準や財政再生基準を大きく下回っており、このまま収支改善に向けた対策を講じることなく財政運営を行った場合には近い将来赤字決算になることは確実な状況である。」しかしらばこの早期健全化団体、又、財政再生団体に陥った場合どうなるのか。

答 早期健全化団体になると計画的な財政構造の改善を図る為の財政健全化計画を策定し、これを公表し自主的な改善努力により財政健全化に取り組んでいくこととなる。財政再生団体になると、国等の関与により確実な再生に取り組む為の財政再生計画を策定することになる。議会の議決を得た後、総務大臣に協議し同意を得る必要がある。国が当該自治体の財政運営に介入することになる。自治体の独自性は大いに損なわれることとなる。具体的には地方債を発行する際には総務大臣の許可が必要となり、道路や河川の整備や施設の更新など投資的事業の大部分が自治体独自の判断で進める事ができなくなるし、単独事業の実施が困難となるほか公共施設等の統廃合の推進や使用料、負担金等の引き上げなどの住民サービスの大幅な低下や住民負担の増加が必至となる。

問 「財政構造の硬直化を示す経常収支比率は年々増加しており30年度決算では98.7%と県内市町村では最も高く、財政構造が硬直化していることは明らかである。」とのこと。ならば、経常収支比率が100%を超えるようなものか。

答 超えるのと市税や交付税等の経常的な収入では人件費や扶助費、公債費等の経常的な支出さえ賄えないことになるので、道路や河川の改修、防災対策や都市基盤の整備等の投資的な経費に要する一般財源を捻出することができなくなる。この為投資的経費の財源についてはすべて基金や市債に頼らざるを得ず、基金の枯渇、市債残高の増加を招き、財政状況は急激に悪化することとなる。

問 市長は当初予算編成後の財政調整基金の残高は4億1千万円であるとのこと。このまま推移すればどうなるのか。

答 近いうちに財政調整基金は枯渇することが見込まれるので庁舎等建設基金などの特定目的基金を活用して財政運営をせざるを得ない状況となる。令和2年度以降の5年間の経常的な経費に係る収支見通しでは、全体で35億円を超える収支不足が見込まれるので、これらの基金を全て充当してもなお収支不足が生じることとなる。このままの財政運営を行った場合には、近い将来には基金が枯渇し赤字決算に陥ることになる。

問 市の借金にあたる市債の残高は、約170億3千万円となる見込。平成30年度決算における実質公債比率は7.6%で、早期健全化基準の25%を大きく下回っている。今後市債の発行を抑制する必要がある。問 答弁を聞いていたが、本市の将来が明るくなるような答えは一つもない。心が重くなるような答弁ばかり。昨年度から一部職員の給料が減額され、今年も減額される。市長、副市長は給料減額の考えはあるのか。

市長 しかるべき時に当然考えていく。しかるべき時は今ではないのか。

個人質問

安心・安全なまちづくりを目指して

上代 和利 議員



問 白里地域2カ所ある津波避難タワー、築山第2防災公園の活用について

答 津波避難訓練に際しましては、当該施設を避難場所のひとつとして活用し、避難された方へ施設や設備の利用方法を説明するなど、津波避難時の対応について周知し、防災意識の向上に努めています。

問 市のハザードマップの見直しについて伺います。

答 昨年度、千葉県が津波防災地域づくりに関する法律に基づき、新たに津波浸水予測を発表したことから、それに合わせて市の津波ハザードマップを見直す予定であります。

問 津波避難計画の見直しで、一時避難場所としての九十九里の有料道路の活用について伺います。

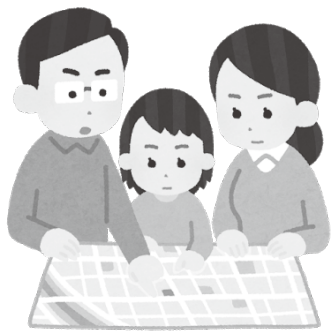
答 千葉県と千葉県警察に確認したところ、道路交通法により当該有料道路は歩行者の立ち入りが禁止されていることから、一時避難場所として指定し、活用することは困難であるとのこと。

問 次に、避難所に女性スタッフを配置することについて伺います。

答 災害時の避難所においては、プライバシーや衛生環境など、生活面に関わる様々な問題への対応のほか、女性ならではの相談や悩み、女性用品の供給など、避難所運営には女性に配慮した対応が必要であり女性職員の配置が望ましいと考えています。今後、避難所の開設運営にあたりましては、可能な範囲で女性職員の配置を努めてまいります。

問 次に被害にあった農業ハウスの復旧進捗状況についてと支援策についてお聞かせください。

答 補助金交付決定前の着工制度を



個人質問

①文化財を保護し観光資源として活用を
②災害対策、避難所対応の検証

蛭田 公二郎 議員



①文化財保護について

問 正法寺入口の環境省・千葉県連名の説明板がボロボロ状態になっている。文化財管理の現状はどのようなになっているか。

答 指定文化財の管理につきまして、大網白里市文化財の保護に関する条例第6条におきまして、所有者が行うことと規定されております。

問 市の文化財保護条例は、文化財の管理は、文化財以外の説明板とか標識などについても必要に応じて修理を行う、また行つて貰うということになっている。是非改修されたい。

答 正法寺は、かつて関東三大檀林として最盛期には900人以上の学僧が学んでいた名刹。中門の傍に立っている「檀林配置図」は、200年以上も前の往時の様子を今に伝えるものだが傷みが激しい。改修されたい。

また、本市には高村光太郎の智恵子抄ゆかりの場所がいくつかある。隣の九十九里町とも連携しながら新たな名所の発掘も行い、文化財や名所を観光資源として活用されたい。

②災害対策について

問 昨年の台風・豪雨による家屋損壊の支援申請件数は約50件、金額は1千万円程度ということだが、12月補正予算では300件以上を想定し1億8千万円の予算を組んだ。罹災証明書発行数の1千件以上に比べても申請が極端に少ないのは何故か。

答 事前相談の際に被災者の方々から修繕を請け負う業者の対応が追いつかず、見積書の徴収や契約締結の見通しが立たないため、申請をすることができないとの声もお聞きしております。

そういう方に対しては、今後も引き続き申請を受け付けて頂き、また

そのことを被災者に十分周知された

問 避難所対策としてのトイレの洋式化問題だが、昨年の台風で避難された方々が、トイレが和式であるために高齢者が使用できないという声を聞いた。小・中学校のトイレの改修の取り組みについて、どのように進めていくのか。

答 現在の厳しい財政状況を考慮しつつ、故障等により便器の交換が必要な場合は適宜洋式のものに切り替えるとともに、学校施設の老朽化の状況等を勘案した中で、計画的な整備を検討してまいります。

文部科学省は、学校施設整備費の小・中学校のトイレ改修は、国の国土強靱化の関連予算としても計上しているので自治体の持ち出しは実際には3分の1で済むと言っている。

一気にいかないにしても、国の学校施設の整備費などを活用して改修方に努めて頂きたい。

問 避難所に避難するに当たっては、食料、水、毛布、薬などの生活必需品は持参するのが原則になっているが、特に毛布について、高齢者や交通手段のない方などは毛布を持って避難ということはできない。そうすると、避難をためらってしまうということもなりかねない。検証委員会の中でぜひ検証して頂きたいがどうか。

答 避難時における毛布等の持参の呼びかけでございますが、高齢者等の要配慮者の方など、毛布等を持参することが難しい場合もあることは理解いたしますが、市の備蓄数にも限りがございますので、可能な範囲で持参していただくようご協力をお願いしたいと考えております。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 N H Kの調査データによると、東日本大震災後に、亡くなった人が10人以上の自治体に調査をしたところ、障がい者の死亡率は、住民全体の死亡率の2倍になっているそうです。昨年12月議会での質問に対する回答で、中央公民館が福祉避難所として対応がとれていたと伺いましたが、実際に要配慮者の利用は何名くらいあったのでしょうか。それは、想定数に当てはまるものでしたか。

答 中央公民館には、介護用ベッド12台と車イス4台を配置し、8名の方を受け入れました。

問 県立大網白里特別支援学校と中央公民館の福祉避難所をどの様に周知したのかを伺います。

答 県立大網白里特別支援学校が福祉避難所として併設された場合は、防災行政無線やホームページへの掲載等により周知を図っていきます。中央公民館の福祉避難所としての開設は、電話による問い合わせの方に案内しました。

問 自力で避難できない要配慮者への対応として、福祉事業所の持つている情報や福祉車両などが有用です。大規模災害では福祉事業所も被災する可能性がありますので、平時からの連携体制の構築が重要です。どのような準備をされていますか。

答 行政・障がい福祉事業所・障がい者団体等で山武圏域技術協議会を設置し、災害時の支援レベルの判断や困った事案などを共有しております。引き続き当協議会を通じて連携を図っていきます。

問 「迷惑が掛かるから指定避難所になて行けない」要配慮者の声です。要配慮者にそう思わせない対策について伺います。

答 今後、福祉関連部署と連携し、要配慮者の意見等を参考に福祉避難所の設置、運営の改善に努めます。

問 大雨に備え身近な側溝の掃除を全市一斉にゴミゼロ運動に併せて、全自治会に協力してもらうことは出来ないでしょうか。

答 側溝清掃の時期は、地域の自治会により様々です。また大量な土嚢の回収など市の対応が困難である為実施することは難しいです。

問 治水に関する市の方針は。

答 小中川の大網駅上流について、整備計画を策定し、事業化を進めています。また、金谷川は約3割の整備に留まっている為、この両河川を50mm/時の計画強度に対応することを最優先にします。

問 大網白里市には小西檀林・宮谷檀林・細草檀林と三つもの檀林がありました。観光資源として利用出来ないでしょうか。

答 檀林は、デジタル博物館で詳しく紹介されておりますが、現在は観光資源としては位置付けていません。

問 市の温暖化問題の対応について

答 市は「地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の業務から排出されるCO₂の削減に取り組んでいます。

地球温暖化対策は、市の職員だけが取り組む問題ではなく、「市民一人ひとりが実行する環境に負担をかけないまちづくり」を計画していく必要があると考えます。周知・啓発により、推進させて頂きますよう、ご検討をお願いしたいと思います。

※他に◆通学路、大網幼稚園付近の危険箇所◆自力で避難できない要配慮者への対応◆福祉避難所に関する聞き取り調査◆桂山池の整備◆稲わらの水路流入について質問しました。

個人質問

若い世代・現役世代・高齢世代まで
住み続けたいまちづくりを目指して

秋葉 好美 議員



問 第6次総合計画について、1月号の広報に令和3年度を初年度とする第6次総合計画の中に、市民アンケート及び中高生のアンケート結果が終了したと掲載されておりました。その内容と結果をお聞かせ下さい。

答 令和元年6月に18歳以上の男女3000人を対象にアンケートを実施。市民アンケートの回収数1076通で、回収率35.9%、中高生のアンケートの回収数540通で、回収率92.2%の結果でございました。

市民アンケートでは、本市の住み心地や愛着、定住意向は、5年前の調査結果と比較しますと、ほぼ横ばいでした。満足度の割合が全体の18.3%であり、5年前と比較しますと4.2ポイントの改善がみられました。

また、中高生のアンケートでは本市の住み心地は、全体で57.7%が住みやすいと感じているという結果でした。このほか、本市の重要視すべき施策として、駅周辺整備が最も高く、次いで公共交通、医療体制道路整備という結果でした。

問 次に第2期総合戦略について、国立社会保障研究所によると、我が国の世帯は3世帯同居世帯が減り、単独世帯、いわゆるひとり暮らし世帯が急増している。特に、世帯主が65歳以上の世帯数は2005年から2030年にかけて1.355万人から1.9万人に増加する。このうち、夫婦のみの世帯、465万から569万、ひとり暮らし世帯は387万から717万増加する。さらに、未婚のひとり暮らし高齢者が2005年には男性が27万人、女性は53万人であったが、2030には男性が168万人、女性が120万人と急増すると言われている。この高

齢化や人口減少は国民一人ひとりが厳しい現実を認識していかなければならない。現在の課題は、現役世代で解決することを自覚しなければならぬと述べられています。そこで、本市の目指す人口減少及び高齢化の将来の基本目標について伺います。

答 国において、令和元年9月に閣議決定されました、まち・ひと・しごと創生基本方針2019で、第1期地方創生の取り組みを継続し、令和2年度から6年度までの5年間を計画期間とする第2期大綱白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向け、鋭意、取り組んでおります。第2期総合戦略では、4つの基本目標の下、子育てしやすい環境の一層の充実と、企業の誘致等による働く場の創出により、働き子育てする世代を呼び込み、活力あるまちづくりと、駅周辺や主要幹線道路沿いの都市基盤や観光資源の活用により、魅力あふれるまちづくりを進め関係人口の創出と拡大、人口の自然増、社会増を目指し、総合戦略に掲げる推進をしてまいります。

問 次に、空き家・空き地の相続について伺います。現在、死亡等により相続人が不明となっている土地、家屋の件数及び固定資産税未納の件数についてお聞かせ下さい。

答 固定資産税の課税件数2万7000件で、課税対象となる土地は9万2000筆、家屋約2万7000棟。相続人が不明で課税できないものが、現時点で45件あり、内訳として、土地117筆、家屋38棟です。

要望として、代替わりで未納が増加することで、他の課と連携を図って対応してください。

問 市内全域を対象にした洪水ハザードマップの作成状況と海岸地域、山間部、市街地、そして河川の流域など地域の特性があります。それぞれ地域の特性があります。その機能したのか、どのような状況になつたら避難するのか、事前に行動計画を整理することが大変大事です。住民一人ひとりの行動チェックリスト自分を守る「マイタイムライン」の作成について伺います。

答 現在の洪水ハザードマップは、平成30年3月に改定したもので全国的にこれまでの想定を超える降雨量が多くなつてきており、本市においても関係機関と調整し見直しを検討してまいりたい。災害情報の伝達について可能な範囲で対象地域を絞つた上で、防災行政無線等により発信しております。マイタイムラインは台風の接近等により河川の水位が上昇するときなど洪水時に自分自身が取るべき避難行動をあらかじめ時系列的に整理し、取りまとめる行動計画表であります。タイムラインを作成することは自らの避難行動を整理し考える上で重要な役割を果たしタイムラインを家族、地域で共有することで災害時の被害低減につながるものと考えられることから、マイタイムラインの作成を推進してまいりたいと考えております。

問 高齢者独居の方など自力避難困難者に対して、どのような支援対策をしているのか伺います。

答 災害時において高齢者、避難行動要支援者の方々が安全に避難するためには、家族や近隣住民など周囲の方々による避難支援が必要となつております。市では名簿を作成し、名簿登載者の同意の下、災害時にお

個人質問

災害時の避難対策と
地域防災力の向上を目指して

引間 真理子 議員



いて支援者となる自主防災組織等に対して名簿情報を提供し、日頃より支援を必要とする方と支援する方との間において、避難方法等を確認していただけるよう努めている。

問 地域防災力の向上、防災士養成助成制度について、災害が起きたときの自助・共助には地域の意識協力が必要不可欠になります。そのため年に1人でも地域の中から防災士が誕生すれば地域での防災意識が変わります。千葉県では10の市町村が助成制度を制定しており、近くでは山

武市、横芝光町、長生村などがあります。本市でも助成制度ができないでしょうか。

答 防災士は、自助・共助、協働を原則として社会の様々な場で防災力を高める活動を実施する十分な意識一定の知識、技術を習得したもので自主防災組織など活躍が期待される地域リーダーの養成は地域防災力の向上につながることから、今後、自主防災組織との意見交換会の際、話題として取り上げ研究してまいりたいと考えております。

その他、認知症・フレイル対策について、イノシシの駆除、棲み家対策についての質問をいたしました。

問 新たな都市計画見直し案の作成について、大規模な企業の誘致について、若者に対する雇用対策、良質な就労のための環境整備について。

答 開発行為の許可に関する事務の権限は現在千葉県が有してござい

ますが、本市へ権限を移譲された場合、都市計画法の定めに従い、地域の実情に即した考え方を本市の条例に定めることが可能となり、本市の実情に即したまちづくりが図りやすくなると考え、来年度から事務執行体制の準備に着手する予定です。

問 教育環境の充実について。

答 不登校やいじめなどの未然防止と早期対応を図るため、様々な悩みを持つ子どもたちに寄り添うことで、生徒指導の面からも、特別支援教育支援員が効果的な役割を担っており

ます。今後も学力の向上も含め、子どもたちや教職員のために必要な環境の整備に努めてまいります。

問 多種多様な業種で働く市民への保育園、子どもルームの休日、夜間対応について。

答 今後も、ファミリーサポートセンターの提供会員の確保に努め、事業の充実を図ってまいります。

個人質問

強きを挫き弱きを扶ける！

宮間 文夫 議員



会等を開きまして、その中で、特命院長が出席しております。併せまして、統合、再編についても協議している最中でございますので、25年度に向け、準備しておりますので、今後とも行方を注視していきたいというふうに考えております。

問 交通弱者の救済のため、移動販売車を導入することについて、民間企業が検討しているというふうに聞いておりますが、市の考えは。

答 高齢者とその家族を支援するための便利帳として、高齢者福祉のしおりを作成しており、その中に、移動販売サービスや配食サービスを行っている事業所の紹介をしています。

問 波乗り道路に壁面にウォールアートをする事について。

答 ご提案いただきましたウォールアートにつきましては、新たな観光スポットを創出する上で有効な手法の一つであると考えられますので、ほかの場所における可能性を含めて調査研究してまいります。

問 堀川河口の堤防について。

答 機会を捉えて要望します。

問 波乗り道路の側道の砂について

答 海岸管理者の千葉県と協議。

問 通称枝川の活用について。

答 引き続き国の動向を注視し、適切に対応してまいります。

問 白里海岸公園について。

答 地元地区の皆さんのご意見や市議会のご議論を踏まえながら、来年度中には白里海岸公園の見直しを決定してまいりたいと思います。

問 市財政運営について。

答 このまま対策を講じなければ近い将来、基金が枯渇し、赤字決算に陥ります。財政体質の改善を図って



©KOMETO

他に、都市計画税の導入について安全対策について質問いたしました。

個人質問

子育て支援事業計画について
地球温暖化自然エネルギーについて

山下 豊昭 議員



問 子育て支援事業について伺います。

本市の保育事業に関わる施設も多々ありますが、その内の①認可保育所②認可外保育施設、③認定こども園三種の施設について、法的制度等の位置付け、施設の役割、行政支援について内容をご説明下さい。

答 認可保育園は0～5歳の児童数20人以上保育、認定こども園は、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ、施設で認可保育施設は市が支援して運営費は市の給付費により運営されている。又、認可外保育所は主に保護者の利用料で運用され認可保育所と比べて設置基準や運用基準が穏やかになっています。

問 次に食育について伺います。

食育の中でも特に難しいと言われる離乳食後の親子料理教室の定期開催は年間何回実施されていますか。次に令和2年度以降の食育事業拡充について、お伺い致します。

保育園、保育所と連携して健康診査健康講座で体の健康歯の健康、食べる楽しみの普及や子供の孤食、偏食について、食品改善協議会との協力更に民間と協働し食育を進めるとあるが令和2年度における具体的な計画及び実行予定を伺います。

答 市の健康作り計画に準じ離乳食講習会は基礎・ステップアップコースにて年各6回奇数月に市の栄養士が中心となり開催、実習、栄養味覚形成等、正しい知識を保護者の方に伝える理解を深めている処です。親子料理教室も栄養士と食生活改善推進員と協働し夏休み期間3回親子を対象に実施、来年度より歯科指導に栄養士が同行、園児や保護者に偏食予防を含め、更に創意工夫を凝らし食育活動推進を図って参ります。

問 地球温暖化について伺います。

昨年の台風被災後、半年経過した現在本市の支援状況と今後の支援活動計画の予定についてお聞かせ下さい。

答 住居被害では国や県の補助金を活用し修繕費用の一部を支援を行い農業被害については被害状況を基に補助金支援を行い南玉地区で発生した土砂崩れに伴う生活支援金の手続きを行い復興に向け各種支援を継続して参りたいと考えております。

問 行政として被害者の方々への誠実なフォローアップを望みます。

次にカーボンマネジメントの対象施設と目標値についてお聞きます。

答 現在大網病院、農村環境改善センター、農村ふれあいセンター三施設で温暖化対策としてビルエネルギーマネジメントシステムを導入空調設備の更新、照明LED化を推進しエネルギーの見える化を進めています。大網病院では約27%消費電力削減を見込み全体的には国の基準に合わせ公共施設対策として40%の削減に取り組んでいる処です。

問 最後の質問になりますが一つの方向性として自然エネルギーへの取り組み、グリーンインフラとグリーンフラに対する現時点に於ける大網白里市の考えをお聞かせ下さい。

答 多様な機能を活用する考え方に沿い河川整備を含めグリーン&グレイインフラ双方の特性を踏まえ状況判断して取り組んで参ります。

私も同様、適切に状況を見極め対応する事が望ましいと考えます。カーボンマネジメントの積極推進を図り、又自然エネルギーへの発想転換を加速して頂き大網白里市民が安全安心して暮らせる町作りを行政と共に考える事を伝え質問を終ります。

令和2年市議会第1回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等												
議案 番号	件 名		結果	議案 番号	件 名		結果					
1	令和元年度大網白里市一般会計補正予算（第5号）		可	17	令和2年度大網白里市ガス事業会計予算		可					
2	令和元年度大網白里市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可	18	令和2年度大網白里市病院事業会計予算		可					
3	令和元年度大網白里市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		可	19	令和2年度大網白里市下水道事業会計予算		可					
4	令和元年度大網白里市介護保険特別会計補正予算（第3号）		可	21	市長等の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		可					
5	令和元年度大網白里市土地取得事業特別会計補正予算（第1号）		可	22	大網白里市ガス事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		可					
6	令和元年度大網白里市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）		可	23	大網白里市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について		可					
7	令和元年度大網白里市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		可	24	大網白里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		可					
8	令和元年度大網白里市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）		可	26	大網白里市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可					
9	令和元年度大網白里市ガス事業会計補正予算（第1号）		可	28	市道の認定について		可					
10	令和元年度大網白里市病院事業会計補正予算（第3号）		可	29	大網白里市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同					
16	令和2年度大網白里市土地区画整理事業特別会計予算		可	諮問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		適					

賛否が分かれた議案、発議案、陳情など																						
※結果欄の意味は次のとおりです。「○」＝賛成 「×」＝反対 「欠」＝欠席 「可」＝可決 「同」＝同意 「否」＝否決 「採」＝採択 「不」＝不採択 「適」＝適任と認める ※議長（田辺正弘議員）は採決に加わりません。			結 果	土 屋 忠 和	引 間 真 理 子	上 代 和 利	中 野 修	林 正 清 子	山 下 豊 昭	森 建 二	小 倉 利 昭	蛭 田 公 二 郎	小 金 井 勉	北 田 宏 彦	石 渡 登 志 男	田 辺 正 弘	秋 葉 好 美	堀 本 孝 雄	宮 間 文 夫	黒 須 俊 隆	岡 田 憲 二	賛 成
議案番号	件 名																					
第11号	令和2年度大網白里市一般会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	×	○	×	○	14
第12号	令和2年度大網白里市国民健康保険特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	16
第13号	令和2年度大網白里市後期高齢者医療特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	16
第14号	令和2年度大網白里市介護保険特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	16
第15号	令和2年度大網白里市介護サービス事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	16
第20号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	×	×	14
第25号	大網白里市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	×	○	15
第27号	大網白里市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	×	○	15
陳情第1号	経費を節約するために、入札監視の内容を、既存の監査委員の監査基準に、追加してもらうための陳情		不	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	—	×	×	×	○	×	3
陳情第2号	小、中、高かけがえない1111人の命を守りたい自殺対策に関する陳情		不	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	—	×	×	×	○	○	3

議会日誌

令和2年 〔2月〕

14日 議会運営委員会、全員協議会
21日 市議会第1回定例会 開会
27日 一般質問 会派代表質問
28日 2会派・4人個人質問2人
一般質問 個人質問4人

〔3月〕

2日 一般質問 個人質問5人
5日 議会運営委員会、全員協議会
議案質疑、委員会付託
予算特別委員会
総務常任委員会
文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会
10日 12日 予算特別委員会
19日 議会運営委員会、全員協議会
市議会第1回定例会 閉会

〔4月〕

3日 議会だより編集委員会

ようこそ
大網白里市議会へ

令和2年1月28日に兵庫県三田市議会の会派「新政みらい」の皆様が本市デジタル博物館事業の視察に来られました。

また、2月5日には、本市の姉妹町である群馬県中之条町議会運営委員会の皆様が予算・決算委員会の視察に来られました。

次回定例会、請願・
陳情のお知らせ

令和2年第2回市議会定例会は、6月5日（金）に開会する予定です。
第2回定例会に付託される請願・陳情は、5月28日（木）午後5時まで受付していますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続く、2020東京オリンピック・パラリンピックが延期されるなど、各種イベント等の自粛・延期・中止が余儀なくされています。感染拡大を防止するには、市民の皆様一人ひとりの予防対策が重要です。引き続きのご協力をお願い致します。

早期の終息を願うばかりです。令和2年第1回定例会が3月19日に閉会致しました。今定例会では予算特別委員会が開催され、令和2年度の当初予算を審査し、厳しい財政の中、慎重な審議が行われました。

今後も見やすい「議会だより」をお届け出来るよう、編集委員一同努めて参ります。よろしくお願致します。

中野 修

市議会は、1年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。議会だよりでは、各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上、すべてを掲載できません。本会議の内容を詳しくご覧になりたい方は、市議会ホームページ、市役所本庁舎1階行政情報コーナーまたは図書室（保健文化センター2階・中部コミュニティセンター・白里公民館）で会議録をお読みください。

議会だより編集委員会

委員長 石 渡 登志男
副委員長 中 野 修
委員 引 間 真理子
委員 蛭 田 公二郎
委員 北 田 宏彦
議会事務局 Tel (70) 0390